



食レポ

昨日の昼休みに、セブンイレブンで仕入れた「のり弁」を食べ終わり、食後のオヤツのキットカット抹茶味を楽しんでいたら、●●くんが職員室に現れて、ニコニコしながら、「今日、最後の調理実習で作ったんで…」と言って、なにやら黄色の物体を持って入ってきた。直径15センチ、高さ3センチくらいの円柱を、八つの扇形に分けたその一つであるらしく、スポンジ状の胴体の上部には、なにやらナッツらしきものの破片もはりついている。それをどうも私に食せというらしい。う～む、今日の体調はどうだったろう…などと思いながら、清水の舞台から飛び降りるつもりでワン・バイト！ ううむ、食べられるではないか！……などと、ずいぶん失礼なことを書いたが（笑）、●●くん、●●くん、●●くん、●●くん、どうもありがとう。

*

前にいた学校は（って、もう20年近く前の話になるが）、家庭科で調理実習をすると必ず担任のところにも同じものが一揃え届けられたものである。班が交代で担任分を作ることになっていたらしく、毎回違う生徒が持ってきた。完全なる偏見ではあるのだが、女子が運んできてくれると、何となく安心して食べられたのだが、男子が運んできた時は、お盆に盛られている食品を眺めながら、何となく不安になったものである。お盆にはレポート用紙が添えられていて、簡単な感想を書いて、洗った食器とともに返却していた。

*

ところが、この感想を書くのは結構気をつかうのである。せつかく作って持ってきてく

れるわけだから、あまり正直なところ？を書くのは遠慮されるし、かといって、作った班のメンバーたちも当然自分たちの作った物を食べているわけだから、あまり大袈裟なお世辞を書いても、かえってガッカリするに違いないからである。芸能人にとって食レポはなかなか難しいらしいが、家庭科の食感（食べた感想）も難しいのである。

仕方ないから、おいしかったところと、改善した方がよさそうなところを併記するようにして、しかも改善した方がよさそうなところについては、「私にとっては…」みたいな書き方でオブラートに包むようにした。

ただ、おいしい物が運ばれてくることの方が圧倒的に多かったので（たまに焦げたケーキとかがあったが…）、実はそれほど苦心したわけではなく、正直に「おいしかったです」と書いたことが多かったと思う。

*

さて、今回の「ケーキのようなもの」であるが…

○おいしかったです。スポンジの堅さもちょうどよく、ナッツもアクセントになっていて、コーヒーを入れて楽しみました。ただ「私にとっては」、上にかかっているソースがちょっと塩からかったイメージです。この年齢になると、不断から塩分の取り過ぎには注意していて、薄味の調味を心掛けているので、そのせいかもしれません。また、何か作ったら持ってきて下さい。

*

ははは、模範解答？